



概要

当方がリリースしている SRAM 使用の MSX カートリッジの補足説明です。本文書は予告なく変更されることがあります。

対象製品

似非 RAMDisk MAXIMUM

似非 SDisk (予定)

SRAM 内容が意図せず書き換わる事象について

対象製品はメモリデバイスに SRAM を使用しているため、プログラムの暴走や信号のノイズ等の外的要因によるハードウェアのトラブルにより内容が意図せずに書き換わることがあります。

東芝製 MSX「HX-10」シリーズにおいて、電源投入、電源断時に SRAM 内容が破壊される事例が複数報告されています。当方では HX-10 には電源回路、またはリセット回路に問題があると推定しており、該当機種では対象製品をご使用にならないことをお勧めしますが、使用する場合は電源投入時、および電源断時に SRAM 切り離しスイッチを 1 秒程度押下保持することで SRAM 内容の破壊を防止できると思います。

その他の機種でも SRAM 内容が破壊される現象が発生する場合は、同様に対処してみてください。MSX 本体の問題箇所の改修により状況を改善できる可能性はありますが、現時点では具体的な手段は確立されていません。

MSX1 での Nextor の運用について

MSX のメモリマッパーは MSX2 からサポートされたシステムであり、MSX1 での使用は想定されていません。Nextor は MSX1 でも動作しますが、MSX1 はシステム起動時にマップレジスタを初期化しないため、一部のマップメモリを認識できません。具体的にはマップレジスタに 74LS/HC670 を使用したメモリカートリッジが該当します。

MSX1 において、このようなメモリカートリッジを使って Nextor を運用したい場合は、下記手順にて対処してください。

1) 似非 RAMDisk の SRAM 切り離しスイッチを押しながら電源投入し、MSX BASIC を起動します。

2) 下記コマンドを実行します。

```
OUT 252,3:OUT 253,2:OUT 254,1:OUT 255,0
```

(スロット構成によっては、暴走します。)

3) システムリセットします。リセットボタンが存在しない機種の場合、下記コマンドを実行してください。

```
DEFUSR=0:A=USR(0)
```

以上の対処により Nextor が起動します。

手順 2) で暴走する機種は、マップメモリが本体メモリより若いスロットに存在していると思われます。リセットボタンが存在しない場合は対処不能です。

なお、近年の MSX1 対応を謳っているマップメモリカートリッジは、システム起動時にハードウェア的にマップレジスタを初期化しているため、MSX1 でも正しく認識できるようです。

バックアップ電池について

対象製品はコイン型リチウム電池「CR-2032」を SRAM バックアップ電源としています。出荷時の電池で数年は SRAM 内容を保持すると思われませんが、長期間の検証は行っていません。電池の電圧が 2V 程度まで低下すると SRAM の内容が保持されなくなります。電池を交換するときは市販の同等品をお買い求めの上、ご自身の責任において作業してください

作者の WEB サイト

<http://niga2.sytes.net>

自宅サーバーなので時々落ちていることがあります。本機は原則ノンサポートですが、不具合情報などありましたら BBS へご報告ください。

